

よしかわ杜氏の郷の損失補償で文教経済常任委員会に説明

5月21日の文教経済常任委員会で、市産業観光部は、株式会社よしかわ杜氏の郷の長期借入金返済が滞っている問題で説明をしました。同社は、合併前吉川町で平成11年1月に設立されました。民設民営方式で国や県、旧吉川町の補助金とJAなどから融資を受け営業を開始しましたが、清酒の需要低迷などから年間1千万円から2千万円の赤字経営に陥っていました。毎年約2千万円ずつ返済することになっていましたが、滞納が続き今年3月末にJAなどから一括返済を求められています。



株式会社よしかわ杜氏の郷

旧吉川町が損失補償契約をしていたことから、合併と同時に上越市が引き継ぎました。そのためこのまま返済できなかった場合は、来年1月までの未償還金に利息、遅延損害金を合わせると1億2千万円にものぼる損失補償を上越市が行うことになるという説明がありました。上野公悦議員は、確実な経営計画の提示や経営責任を明らかにするなど議会に

きちんと示されてきた。次回の議論は6月10日になります。



新議員によるよしかわ杜氏の郷現地視察
美味しいお酒が沢山売られています

原子力災害対策に議論が集中 市が地域防災計画見直し案を提示

厚生常任委員会

5月30日厚生常任委員会で上越市地域防災計画(案)の所管事務調査が行われました。

現在の「上越市地域防災計画」と上越市水防計画は平成10年に策定されたものです。平成16年の中部地震、平成19年の中部沖地震や平成17年の合併により見直しが必要とされています。



委員会で質問する平良木哲也議員

新計画は震災対策、自然災害対策、その他の災害対策

(原子力災害対策も含む)の3編に分かれています。

本年6月中旬に地域防災計画としてまとめ7月に公表される予定です。

日本共産党の平良木哲也議員は、議員としては初めての経験ですが、トップバッターとして発言しました。まず自主防災組織の現状や災害時の伝達系統のあり方、災

害時要援護者対策を進めるにあたっての個人情報との関連などについて質問。また今回追加された原子力災害対策にかかわって、緊急時のヨウ素剤の備蓄状況などについても質問しました。

市側は、ヨウ素剤の備蓄は市民一人当たり2錠であること、また全市民分が、市が経営する診療所などに用意されていることなどを示しました。また、他の委員も積極的に発言し、地

域防災計画策定への関心が示されました。特に災害時の原子力事業者の情報開示の迅速性や全面公開などの必要性が指摘され、法的には定められていないものの「安全協定」の取り交わしを早期に求めました。

最後に村山副市長は、「計画作りが目的ではない。法などの制約の中でどう市民の安全を守っていくのか、進化する計画作りをする」と答えました。

平成20年第4回(6月)定例会日程

たくさんの方の傍聴をお願いします
なお、会議時間はいずれも午前10時からです。委員会はいずれも第1委員会室、本会議は本会議場です。一般質問についてはおってお知らせします。

日	会議名	審議案件など
12木	本会議	閉会中の調査事件の報告 提案説明 審議 委員会付託
13金	文教経済委員会 上野公悦議員	付託案件の審査
16月	厚生委員会 平良木哲也議員	付託案件の審査
17火	建設企業委員会 樋口良子議員	付託案件の審査
18水	総務委員会 橋爪法一議員	付託案件の審査
19木	本会議	一般質問
20金	本会議	一般質問
23月	本会議	一般質問
24火	本会議	一般質問
25水	本会議	一般質問
27金	本会議	委員会付託案件の採決 その他

日本共産党上越市議員団ニュース

No. 135 2008年6月8日

連絡先 橋爪 法一 548-3628 (吉川区代石)
樋口 良子 544-6802 (中門前3)
上野 公悦 530-2203 (頸城区中柳町)
平良木哲也 525-9096 (上中田)